

山岡光広・安井直明・小西喜代次議員が一般質問

山岡光広議員



◆教育環境の公的整備・修繕◆臨時・非常勤職員の待遇改善◆JR甲南駅の窓口業務制限は早急に改善を◆医療的ケアの子どもの通学保障へ県実証研究に参加◆農道「南杣トンネル」の照明改善を

問 広域農道「南杣トンネル」が暗い。164基の器具があるのに点灯しているのは36基だけ。LED化も含めて改善を。産業経済部長 経年劣化等により切れているものもある。LED化含めて改善に向けて取り組んでいく。

問 学校教育施設整備の責任は誰か。

市長 施設管理を所管する教育委員会と連携して安全安心の確保に努めている。

問 同じクラスで机と椅子が新旧大小バラバラ。トイレが詰まって使用不可。カーテンもボロボロ、改善を。教育部長 年間予算配分の中で、各学校に対応してもらっている。

問 それは学校長の責任ではないでしょ。市教委の責任で改善すべき。

市長 予算措置はするが、具体的な備品整備は熟知をしていなかった。ご意向ふまえてつやっつけていかなければならないことは努力させていただきます。

問 JR甲南駅の窓口が6月から制限され不便。JRに改善を。

総合政策部長 今回のサービス低下は利用者離れになると危惧している。

問 医療的ケアの通学保障について県の実証研究に市として参加すべき。

健康福祉部長 参加することはやぶさかではない。

安井直明議員



◆米価暴落と安倍内閣の農協・農業委員会つぶしは許せない、所見を問う◆知事選の結果と市の独自施策を県制度に、◆小中学校にエアコンの設置を◆岡山城発掘と登山道の整備◆通行可能な岩上橋へ修復を

問 米価暴落のうえ、国は農業委員会の公選制や建議などやめようとしているが。農業委員会会長 甲賀市の農業委員会は、地域農業の持続的な発展と農業者の代表機関として評価している。

市長 農業者には市独自の助成制度を進める。農業委員会は、農業者の代表として地域農業の振興と農地の有効利用の活動を行っている。

問 集团的自衛権行使容認の閣議決定など国政が影響した知事選結果の評価と、中学校卒業までの医療費無料化等は県制度へ要望せよ。

市長 歯車が狂ってコントロール不能に陥ったのではないかという思いがある。医療費は、県内一律の補助助成制度として求めている。

問 再度、小中学校にエアコン設置を。市長 調査結果の分析・考え方などを整理するよう教育委員会に要請している。

問 古城山の遺跡調査期限と目的は、散策道等の除草をせよ。

教育部長 今年度完了予定をしている。教育長 国の史跡指定を受けるための基礎資料を作成と成果結果は資料として見てもらう。

産業経済部長 除草等については、適正な維持管理に努める。

小西喜代次議員



◆集团的自衛権の行使容認のもとで強まる自衛官募集について◆昨年の台風18号被害状況と防災対策◆信楽町勅旨地域はなぜコミバスのバス停がないのか◆コミバスの改善について◆甲賀市結婚相談事業について

問 集团的自衛権行使容認の閣議決定に対して撤回を求めるべきではないか。

市長 国政のことであり、市長としての所見は、差し控える。戦わずして世界平和に貢献、行動するのが日本の役割。憲法と言う最高法規を守るべきと考えている。

問 自衛官募集案内が市内高校生に送られている。集团的自衛権行使容認のもと自衛隊が海外での戦争で命をなくす事態が現実となるなかで、自衛官募集のための住民基本台帳の閲覧は拒否すべきではないか。

市長 法令の要件を満たしており、閲覧に応じた。

問 長野地区新町橋付近の浸水対策は。建設部長 現在浚渫工事を行っている。

問 信楽町勅旨地域にはコミバスの停留所がない。4月からの80歳以上のバス無料券が利用できない。また、高原鉄道にも無料券拡大を。

総合政策部長 帝産バス、高原鉄道と競合するのでそちらを利用してほしい。高原鉄道への無料券拡大は総合的に判断。

問 三雲駅から甲賀病院への乗り換えなしの8時台バス増便を。総合政策部長 全体輸送力から困難。結婚相談員の待遇改善を。産業経済部長 現状で協力を願いたい。

合併して10年、市民の目線で事業や施策を見直し

議会を終えて 座談会

安井 合併して10年。暮らしがどうなったか検証が求められるが、よくなったという人は少ないのではないかと。

小西 「行政が遠くなった」「信楽や土山では少子高齢化で過疎化が進み、地場産業も後継者がいない、景気が落ち込み経営が苦しくなっている」という声が多く聞かれる。

安井 9月決算議会の中では、新年度予算に反映すること、今後の市政に生かされるよう積極的に発言しました。

山岡 特に決算特別委員会では、予算執行の是非だけでなく、それが市民の暮らしや地域経済にどう生かされているか、そういう検証が大事、と強調しました。

安井 市民に直結する条例の一部改正について、市の対応は議会軽視も甚だしい。

小西 9月30日の議会で私が反対討論をしたのに、翌10月1日付広報誌「あいこうか」に、すでに決まったような報道がなされた。

山岡 広報の意味をはき違えているし、議会はなんでも通る、と思っているあらわれた。

安井 6日の会派代表者会議や緊急の議会全員協議会の席上で、副市長が謝ったが、大きな汚点を残したといえよう。